



おめでとう二十歳 奥出雲町成人式

お盆の帰省時期に毎年行われている、平成二十年度奥出雲町成人式が、八月十五日、カルチャープラザ仁多において開催され、これからの時代を担う新成人が大人の仲間入りをしました。

今年成人式を迎えたのは、昭和六十三年四月二日から平成元年四月一日生まれの町内在住者や町出身者三百三人で、そのうち百六十五人が式典に出席しました。

式典では、町長の式辞、記念品の贈呈、来賓を代表して糸原県議、千原議長からの祝辞がありました。また、新成人の呼名では、一人ひとりの名前が呼ばれると、新成人は晴れやかに元気な声で答えていました。

会場では、久しぶりに会った仲間と再会を喜び、記念撮影する人、あふれる笑顔で近況や将来の夢などを語り合う人など、晴れの門出を喜びあう姿が見られました。



▲国歌を斉唱



▲呼名を受ける新成人



▲式典を待つ新成人

町長式辞

岩田町長が新成人を祝福し「我が国の財政は八百兆円を超す債務に加え、少子高齢化も進み、また公共工事の削減など都市と地域の格差は顕著となり、一方で原油の高騰や物価の値上がりなどかつてな

い厳しい状況にあります。こうした中、若い皆さんの情熱と力強い行動力が求められています。二十一世紀を担う皆さんが本日の成人式を機に、認識を新たにし、常に問題意識を持ちながらそれぞれの人生目標に向かって研鑽努力してほしい」と新成人を激励しました。

成人としての決意を新たに お礼のことば

私たちがこうして、今日という素晴らしい日を無事に迎えることができましたのも、地域の皆様や学校の先生方、そして家族など多くの支えがあつてのことだと深く感謝しています。

私は県外の大学へ進学し、教師になることを目指して学んでいます。生まれ育つたこの奥出雲町を離れてみて、改めて故郷の温かさを感じる事ができました。

伝え、子供たちにも自分の故郷のすばらしさを感じてほしいと思っています。私たちは、成人という節目を迎えた今日を契機に、自らを、そして奥出雲町を見つめ直し、豊かな自然や温かい人付き合いを誇りに思い、これまで温かく見守り成長させてくださった皆様方に感謝し、その恩返しができるよう日々精進してまいります。



そして、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。
平成二十年八月十五日
新成人代表 藤原 愛



島根リハビリテーション学院 設備、教育、管理運営などで高評価

私立専門学校を対象とした全国初の学校評価機関である「私立専門学校等評価研究機構」(全国151校が加盟)が、関東地区の7校と西日本では唯一、島根リハビリテーション学院に第三者評価修了証を交付しました。

評価は10の基準項目について、教育理念や教育活動、学生支援などの47の評価項目で実施されました。

同学院では、平成17年度から学内に評価検討委員会を設置し、自己点検評価や外部評価に取り組んでいましたが、今回の第三者評価では「自己評価報告書」による書面調査やヒアリング調査及び訪問調査が行われ、47項目中45項目で基準以上の高い評価を受けました。



▲下山学院長(右)から報告を受ける岩田町長

下山 誠学院長は「ここ数年、学生の教育、経済的側面の支援のみならず、管理運営における諸規則の制定や教員の大学院などへの進学支援、学院関係者の福利厚生に力を入れてきた。今回の評価は、町のご支援と開校以来の教職員の懸命な努力の結果で、創立10周年を迎えた本学院にとって記念すべきこと。今後もこれらの基準を維持するとともに、地域と共に歩む教育機関として発展したい」と述べました。



▲第三者評価修了証